

国道 171号 八丁畷交差点の改良工事が完成

濱田市長は、国道 171号の安全対策や渋滞緩和等のため、国に対し、主要交差点に右折レーンを整備してほしいとの要望を継続的に行ってきました。その成果あって、八丁畷交差点の整備が6月末に完了しました。

引き続き、国では鋭意、交差点改良事業に取り組まれ、富田丘町西や大畠町等の交差点で整備が進められています。



『はまだ剛史を囲む新春の集い』を盛大に開催



去る2月5日、アンシェルデ・マリアージュで、『はまだ剛史を囲む新春の集い』を開催しました。

今回は午前・午後の2回の開催に、いずれも大勢の市民・団体の皆様のご参加を得て、大盛況のうちに終えることができました。ご参加・お申込みをいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

皆様の温かい励ましと貴重なお声を大切にし、はまだ剛史は、より一層邁進してまいります。

定期総会・はまだ剛史市政報告会

とき

平成29年8月27日(日) 午後2時~3時

ところ

高槻現代劇場 市民会館 305号

高槻市野見町2-33 (電話番号: 072-671-1061)

はまだ剛史市長が平成29年度の市政運営を熱く語ります。皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。



新規会員を募集

本会では、新規会員を募集しています。

はまだ剛史を応援していただける方で、本会の設立の趣旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会していただけます。下記までお問い合わせください。

事務所連絡先

所在地: 〒569-0071

高槻市城北町1-14-6 荒木ビル4階南

電話・FAX: 072-674-1007

「新たな飛躍をめざす市民の会」はホームページを開設しています。

はまだ剛史の活動報告やメッセージ動画を掲載していますので、是非ご覧ください。

URL <http://hamada-takeshi.jp/>



はまだ剛史

検索

新たな飛躍をめざす市民の会 News Letter

はまだ剛史とともに

第12号 平成29年7月

発行者: 新たな飛躍をめざす市民の会 発行責任者: 山本 政行
〒569-0071 高槻市城北町1-14-6 荒木ビル4階南 電話・FAX 072-674-1007



未来への展望を開く経営革新を

高槻市は今、未来に向けた大きな転換点にあります。

本年3月には、生まれ変わったJR高槻駅に特急「サンダーバード」の停車が実現しましたが、いよいよこの秋、念願の高槻インターチェンジが開通するという、本市の歴史に新たな1ページが刻まれます。

超高齢化と人口減少という未だかつて経験したことのない社会の変化を背景に、本市を取り巻く状況は今後の財政見通しから非常に厳しいものがあるといわざるをえません。こうした時代であるからこそ、高槻市の目指すべき方向性を見定め、今なすべきことは時機を逸することなく着手し、明るい未来への展望を開くことが市政の舵取りを担う私の責務であります。

2期目の折り返しとなる平成29年度は、重点施策を着実に推進することに加え、「みらい創生」を具体化し、将来への布石を打つ重要な一年であります。健全財政を維持している今この時期から改革に着手することで、将来にわたり市民生活の質を維持・向上することができると確信しています。

道のりは険しく、様々な困難が予想されますが、市民の皆様と対話し共感を得ながら、一步一步、着実に前へ進めてまいります。皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 濱田剛史

未来を見据えた施策に重点

事務的経費を削減し健全財政の堅持も

平成29年度当初予算・施政方針



一般会計

1,215億8,546万円 (前年度当初予算額比0.6%増)

特別会計

1,172億1,708万円 (同0.03%減)

当初予算

予算編成に当たっては、事業の抜本的な見直しにより、事務的経費の前年比1%削減を達成。健全財政を維持する一方、縮小均衡の改革だけを追及するのではなく、安満遺跡公園整備などのビッグプロジェクトや次世代育成につながる投資など、未来志向の予算編成となっています。

重点施策

都市機能の充実

☆印は新規施策です

- 新名神高速道路（高槻以西）の早期整備を支援
- 新名神高速道路高槻 IC周辺の沿道まちづくりを支援
- ☆十三高槻線（府道枚方高槻線～檜尾川大橋）などの沿道まちづくりに着手
- 安満遺跡公園の整備を推進（平成31年1次開園）

安満遺跡公園のキャッチフレーズが決定！

『日本の始まり、高槻に。』

この地で縄文文化との共生により弥生文化が花開き、史跡安満遺跡がクニの源を知る重要な遺跡であることから、このキャッチフレーズに決定しました。

○城跡公園の再整備を推進

☆「竹の内・畠田」方面への市営バス運行を開始

○JR高槻駅全ホームの安全柵の設置を支援

☆空家対策に向け実態調査を実施



新名神高速道路がいよいよ開通

高槻～川西 ⇒ 平成29年秋頃
川西～神戸 ⇒ 平成29年度末



新名神のアクセス道路「南平台日吉台線」が開通（本年3月）

子育て支援・教育環境の充実

☆市立幼稚園・保育所の認定こども園への移行などを推進

○多様化する保育ニーズに対応

（民間の認定こども園の新設・増改築の支援など）

○「（仮称）高槻子ども未来館」の建築工事に着手

☆小学校1・2年生を対象とした英語教育を実施

○小中一貫教育の今後のあり方を研究

☆北摂7市3町の連携による、図書館の広域利用を開始（本年7月から）

☆三好山芥川山城跡の活用に向けた検討（航空レーザー測量による遺構の現状把握を実施）

子育て環境がさらに充実！

高槻子ども未来館は、「保育」、「母子保健」、「子育て人材育成」の機能を有する施設で、安満遺跡公園の隣接地に平成31年に開館予定。

同公園内には、全天候型「子どもの遊び施設」も整備されます。

戦国武将・三好長慶が居城した「芥川山城」

が「続日本100名城」に選ばれました。また、本年2月に列福されたキリシタン大名・高山右近などが城主をつとめた「高槻城」が築城400年を迎えるました。

注目される両城の魅力を活かし、高槻にふさわしいまちづくりが展開されます。



「しろあと歴史館」では様々なイベントを展開

健康・福祉の充実

○介護予防・日常生活支援総合事業を実施

☆「認知症初期集中支援チーム」を設置

○胃がん検診での内視鏡検査の導入に向けた体制整備

○大阪府三島救命救急センター建て替えに向けた検討

産業の振興

○商工会議所との連携を強化

（起業・創業の促進、たかつき土産認定制度の創設、商工会議所70周年事業を支援）

☆シニア層の創業を支援

☆市有地を活用したホテル誘致を推進

○観光協会などと連携し、体験交流型観光「オープンたかつき」を実施

市民生活の充実

○コミュニティセンターにエレベーターを設置

○市民会館の建て替えを推進（平成34年開館）

○合葬墓の整備を推進（平成31年供用開始）

安全・安心のまちづくり

○市役所本館など、公共施設の耐震化を推進

○城跡公園内への雨水貯留施設などの整備を推進

○防犯カメラを設置する自治会などへの補助を実施

☆大規模な都市公園に防犯カメラを設置

○「水害・土砂災害ハザードマップ」を全世帯に配布

良好な環境の形成

☆エコショッピング認定制度を実施

○高槻クリーンセンター第一工場を高効率発電設備を有する施設に更新（平成31年度稼動目標）

☆新名神高速道路などの供用開始に伴い、大気常時監視局を新設